

日 絹 月 報

令和4年6月号 第530号

発行：一般社団法人日本絹人織織物工業会
日本絹人織織物工業組合連合会
Tel 03-5244-4243
URL <http://www.kinujinsen.com>

本号の主なニュース

1. 令和4年度の繭及び生糸の関税割当て
2. 2022年版中小企業白書・小規模企業白書の公表
3. 当会 工業会定時総会及び連合会通常総会の開催
4. 第142回通商問題委員会の開催
5. セーフティネット保証5号の対象となる指定業種
6. 「夏季の省エネルギーの取組について」を決定

◇ 令和4年度の繭及び生糸の関税割当て ◇

とうもろこし等の関税割当制度に関する省令（昭和40年農林省令第13号）第6条の規定に基づき、繭（繰糸に適するものに限る。）及び生糸（よつてないものに限るものとし、野蚕のものを除く。）の関税割当てに関する事項が令和4年4月1日付けで次のとおり定められた。

1. 割当対象物品、割当数量及び通関期限

- (1) 割当対象品目 繭及び生糸
- (2) 割当数量<注> 798トン （当会関係 349トン）
- (3) 通関期限 令和5年3月31日

2. その他

その他関連事項に関しては、令和4年度の繭及び生糸の関税割当てについて（令和4年3月11日付け3輸国第4753号関税割当公表第84号）による。

関税割当てを受けた者の氏名（名称）及び住所を、農林水産省のホームページ、経済産業公報及び通商弘報において公表される。

<注> 本公表による関税割当ては、繭及び生糸の共通数量（生糸換算）で行うものとし、乾繭歩合（乾繭から生糸への換算）は40%とする。

「農林水産省ホームページ」 <http://www.maff.go.jp/j/kokusai/boueki/triff/>

◇ 2022年版中小企業白書・小規模企業白書の公表 ◇

令和4年4月26日
経済産業省
中小企業庁

中小企業庁では、「令和3年度中小企業の動向」及び「令和4年度中小企業施策」（中小企業白書）、並びに「令和3年度小規模企業の動向」及び「令和4年度小規模企業施策」（小規模企業白書）を取りまとめ、本日4月26日に閣議決定されましたので公表します。

1. 2022年版中小企業白書・小規模企業白書の特色

2022年版白書では、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の流行や原油・原材料価格の高騰等の外部環境に直面する中小企業・小規模事業者の動向、中小企業・小規模事業者のそれぞれが自己変革に向けて、新たな挑戦を行うために必要な取組について、企業事例を交えながら分析を行いました。

2. 2022年版中小企業白書・小規模企業白書のポイント

総論

- ・中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、2年に及ぶ感染症の流行や原油・原材料価格の高騰、部材調達難、人材不足といった供給面の制約もある中で、引き続き厳しい状況にある。

中小企業における足下の感染症への対応

- ・足下の事業継続とその後の成長につなげる方法の一つとして、事業再構築が重要。売上面への効果や既存事業とのシナジー効果を実感する企業も存在。

企業の成長を促す経営力と組織

- ・中小企業の成長を促すための取組として、ブランド構築や人的資本への投資を始めとする無形資産投資に今回着目。
- ・ブランド構築について、ブランドコンセプトの明確化や従業員への浸透などを行うことも必要。
- ・人的資本への投資について、経営者が積極的に計画的なOJTやOFF-JTを実施し、従業員の能力開発を進めることが重要。

小規模事業者における事業見直し・地域課題の解決



- ・小規模事業者は、積極的に事業見直しに取り組んでいるが、事業見直し時に様々な課題にも直面。こうした中で、事業見直しにおける支援機関の役割は重要。

- ・地域課題の解決に向けて、他の事業者との協業を行う小規模事業者は、支援機関のネットワーク・ノウハウを活用することが重要。




共通基盤としての取引適正化とデジタル化、経営力再構築伴走支援

- ・コスト変動への対応だけでなく、中小企業における賃上げといった分配の原資を確保する上でも、取引適正化は重要。価格転嫁に向けては、販売先との交渉機会を設けることが重要。
- ・デジタル化の進展に取り組み、新たなビジネスモデルの確立につながる段階への到達を目指すことが重要。
- ・経営者自らが自己変革を進めるためには、支援機関との対話を通じて経営課題を設定することが重要。そのためにも、第三者である支援者・支援機関が、経営者等との信頼関係を築き、対話を重視した伴走支援を行うことが有効。

関連資料

- ・ [2022年版中小企業白書・小規模企業白書をまとめました（PDF形式：184KB）](#) 
- ・ [2022年版中小企業白書・小規模企業白書の概要（PDF形式：6,452KB）](#) 

関連リンク

- ・ [2022年版中小企業白書について](#) 
- ・ [2022年版小規模企業白書について](#) 
- ・ [白書・統計情報](#) 

担 当


中小企業庁 事業環境部 調査室長 芳田

担当者：西田、本田

電話：03-3501-1511（内線5241）

03-3501-1764（直通）

03-3501-1207（FAX）

E-Mail: hakusyo-chuki@meti.go.jp 

◇ 当会 工業会定時総会及び連合会通常総会の開催 ◇

工業会令和4年度定時総会及び連合会令和4年度通常総会が、5月17日（火）にKKRホテル東京において開催され、工業会及び連合会の令和3年度事業報告・令和3年度収支決算報告等が賛成多数により承認された。

また、同総会において工業会・連合会それぞれの理事辞任に伴う後任者が以下のとおり選任された。

一般社団法人日本絹人織織物工業会	日本絹人織織物工業組合連合会
理事 蕪木良一（十日町）	理事 田代隆久（村山）
（辞任） 吉澤武彦（十日町）	理事 蕪木良一（十日町）
	（辞任） 高山金之助（村山）
	（辞任） 吉澤武彦（十日町）

◇ 第142回通商問題委員会の開催 ◇

第142回通商問題委員会が5月18日（水）にオンライン開催され（1）日本の繊維貿易の現状（2）各国とのEPA交渉状況等について説明があり意見交換が行われた。

1. 日本の繊維貿易の現況について

（1）輸出入全般の動向

① 2022年3月の現況

円ベースでは、輸出は前年同月比112.3%、輸入は111.6%で、単月で輸出、輸入共に減少となった。（参考：2022年2月単月は、輸出126.2%、輸入94.8%）

輸出（円ベース）は、前年同期比は、115.6%、2019年通期では105.5%、2020年通期では104.6%となっており、輸出ではコロナ前の水準となっている。

一方、輸入は前年同期比は107.5%と同じく回復傾向にあるものの、2019年同期比では97.9%、2020年同期比109.0%となっており、輸出に比較して増加率は低い。

項目	2022年3月				2022年1月～3月			
	金額		前年同月比		金額		前年同期比	
	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース
輸出	85,959	725	112.3%	102.9%	222,734	1,914	115.6%	105.4%
輸入	366,783	3,095	111.6%	102.3%	1,017,944	8,758	107.5%	97.9%

② 繊維品別輸出入実績（2022年1月～3月累計・前年同期比）

輸出（円ベース）		輸入（円ベース）	
繊維原料	127.9%	繊維原料	158.2%
糸類（紡績糸・合繊糸）	111.5%	糸類（紡績糸・合繊糸）	143.6%
綿糸	133.2%	綿糸	153.3%
毛糸	72.9%	毛糸	176.5%
合繊糸	120.0%	合繊糸	133.5%
織物	120.7%	織物	132.9%
綿織物	126.8%	綿織物	112.8%
毛織物	149.6%	毛織物	170.4%
合繊織物	120.7%	合繊織物	146.1%
二次製品	111.7%	二次製品	105.0%

(2) 各国・地域別輸出入の動向

①輸出（2022年1月～3月累計 前年同期比（円ベース））

東南アジア（中国含む）：109.3%、米州：129.1%、欧州：136.5%、中国：110.4%、シェアは25.0%（前年比▲1.1pt）となっており、金額では前年同期を上回るもののシェアは微減である。

アセアン：103.6%、シェアは22.2%（前年比▲2.5pt）。輸出額増のシェア微減である。

前年同期対比100%以上は、タイ、マレーシアを除く東南アジア諸国、西アジア、欧州諸国、米国、アフリカ、大洋州となっている。世界計でも115.6%となっており、回復傾向がみられる。

1月～3月は全体で増加している中、タイの落ち込み90.9%（前年比▲1.0pt）が大きい。

③ 輸入（2022年1月～3月累計 前年同期比（円ベース））

東南アジア（中国含む）：107.2%、米州：122.0%、欧州：110.3%、中国：110.5%、シェアは55.2%（前年比+1.5pt）と輸入額、シェア共に増加傾向にある。1月～3月期では、上海ロックダウンの影響はみられない。アセアン：98.5%、シェアは27.6%（前年同期比▲2.6pt）と輸入額、シェア共に減である。

前年同期対比で見ると、マレーシアが48.4%と大きく落ち込んでいるものの、中国を含む東南アジア、西アジア、米州、欧州他各地域で増加傾向となっており、世界計107.5%と増加した。

2. 次回日程について

第143回通商問題委員会 日時未定


◇ セーフティネット保証5号の対象となる指定業種 ◇

(令和4年7月1日～同年9月30日分)

令和4年6月10日
経済産業省
中小企業庁

概要

業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者を対象とするセーフティネット保証5号について、令和4年7月1日から同年9月30日までの対象業種を、次の通り指定することを予定しております。

- ・ [セーフティネット保証5号の指定業種一覧（令和4年7月1日～同年9月30日）](#) (PDF形式：481KB) 

(補足)セーフティネット保証(5号含む。)について

- ・ セーフティネット保証の指定期間とは、中小企業者の住所地を管轄する市区町村長に対して事業者が認定申請を行うことができる期間をいいます。
- ・ 指定期間内に市区町村に認定申請を行った場合には、認定書の発行、及び金融機関又は信用保証協会へのセーフティネット保証の申込みが指定期間後であった場合でも、セーフティネット保証の対象となります。
- ・ 認定書の有効期間は認定の日から30日です。認定書の有効期間内に、金融機関又は信用保証協会へセーフティネット保証の申込みをすることが必要です。

(本発表のお問い合わせ先)

中小企業庁事業環境部 金融課 神崎

担当者：鈴木、松本、瀬下

電話：03-3501-1511

03-3501-6861 (FAX)

◇ 「夏季の省エネルギーの取組について」を決定 ◇

令和4年6月10日
資源エネルギー庁

本日、経済産業省は、省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、「夏季の省エネルギーの取組について」を決定しました。

国内外のエネルギーを巡る情勢変化により、足下の電力需給は極めて厳しい状況にあることを踏まえ、いかなる事態においても、国民生活や経済活動に支障が生じることがないように、電力需給の安定に万全を期すべく、6月7日に「2022年度の電力需給に関する総合対策」が決定されました。

これを受け、家庭・産業界等の需要側での対応を着実に進めていただけるよう、電力需給に関する検討会合実務者会議と省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議を合同で開催し、「夏季の省エネルギーの取組について」（別添）を決定しました。

この決定に基づき、各方面に省エネルギー・節電の取組を呼びかけるとともに、各種コンテンツを用いて省エネ・節電についての周知等を行うことにより、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーの取組をより一層推進することとしています。

また、政府自らも率先して、冷房中の室温の適正化や照明の削減など、省エネルギーの取組を実践します。

関連資料

[別添:「夏季の省エネルギーの取組について」\(PDF形式:858KB\)](#) 

担当

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部

省エネルギー課長 江澤

担当者：安本、宇佐見

電話：03-3501-1511（内線 4541～4）

03-3501-9726（直通）

03-3501-8396（FAX）

動 向

- 4月22日 日本綿業技術・経済研究所 紡績・織布運転職種の技能実習3号追加に伴う試験委員説明会
- 4月28日 日本繊維産業連盟 責任ある企業行動ガイドライン第3回策定委員会
- 5月10日 当会 日絹工業会・日絹連合会 監査会
- 5月17日 当会 日絹工業会定時総会・日絹連合会通常総会
- 5月17日 当会 日絹運営方針に関する検討委員会
- 5月18日 繊維評価技術協議会 監査会
- 5月18日 日本繊維産業連盟 第142回通商問題委員会
- 5月26日 織質会館 第26回理事会
- 5月27日 シルクセンター国際貿易観光会館 令和4年度第1回定例理事会
- 5月30日 全日本きもの振興会 第62回通常総会
- 6月 2日 ケケン試験認証センター 監事監査
- 6月 3日 繊維評価技術協議会 2022年度第1回理事会
- 6月 7日 UAゼンセン 2022繊維産業シンポジウム
- 6月16日 織質会館 第27回理事会
- 6月21日 ケケン試験認証センター 2022年度第1回理事会

会議予定

- ☆ 繊維評価技術協議会 2022年度総会
6月28日（火）14時～16時 於：KKRホテル東京
- ☆ 繊維評価技術協議会 2022年度第2回理事会
6月28日（火）16時05分～16時25分 於：KKRホテル東京
- ☆ 日本繊維産業連盟 第1回常任委員会
7月12日（火）13時30分～16時 於：野村コンファレンスプラザ日本橋
（ユイト日本橋）6F大ホール
- ☆ 日本繊維産業連盟 技能実習適正化・取引適正化推進委員会
7月12日（火）16時～16時30分 於：野村コンファレンスプラザ日本橋
（ユイト日本橋）6F大ホール

☆ UAゼンセン／日本紡績協会 日本繊維産業会議
7月20日（水）15時～17時 於：ゼンセン会館

☆ 当会 資産運用検討委員会
9月22日（木）12時～14時 於：KKR ホテル東京

☆ 当会 工業会・連合会 理事会
10月21日（金）12時～14時 於：KKR ホテル東京

イベント

☆ The Japan Observatory at MilanoUnica 2023 Autumn/Winter
7月12日（火）～14日（木）9時～18時30分
会 場：イタリア ミラノ市 ローフィエラミラノ

☆ Intertextile Shanghai Apparel Fabrics Japan Pavilion 2022 Autumn Edition
8月29日（月）～31日（水）9時～18時
会 場：中国 上海 国家会展中心

☆ 桐生織物 織姫展【京都展】
9月 7日（水）9時～17時
8日（木）9時～15時
会 場：京都市 丸池藤井ビル 彩麗館

☆ 第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022
9月 7日（水）～9日（金）10時～18時（最終日～17:00）
会 場：東京ビッグサイト 東展示棟

☆ 桐生織物 織姫展【東京展】
10月 4日（火）10時～17時
5日（水）9時～16時
会 場：綿商会館

☆ 桐生テキスタイルコレクション 2023

10月 6日(木) 10時 ~ 18時

7日(金) 10時 ~ 17時

会場: With HARAJUKU 3F Hall

☆ JFW JAPAN CREATION 2023

11月 1日(火) ~ 2日(水) 10時 ~ 18時

会場: 東京国際フォーラム ホール E1

☆ Premium Textile Japan 2023 Autumn/Winter

11月 1日(火) ~ 2日(水) 10時 ~ 18時

会場: 東京国際フォーラム ホール E2

☆ 桐生織物 織姫展【京都展】

12月 7日(水) 9時 ~ 17時

8日(木) 9時 ~ 15時

会場: 京都市 丸池藤井ビル 彩麗館

官公庁・団体からの案内情報

《 経済産業省省 》

- ・事業再構築補助金

<http://jigyousaikouchiku.go.jp>

- ・新型コロナウイルス感染症関連

～経済産業省の支援策(2022年6月13日時点)～

<https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html>

《 厚生労働省 》

- ・年次有給休暇取得促進特設サイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/kyuuka-sokushin/>

- ・働き方・休み方改善ポータルサイト

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>